



名前 森岡 隆

役職 准教授

学位 文学修士

## ウィリアム・フォークナーと、 丘 (hill) に住む人々 ～プア・ホワイト・トラッシュ考～

アメリカ作家、南部作家、南部貴族、  
貧乏白人、アパラチア、  
「アパラチアの神話」、ブルーグラス

私は、アメリカのノーベル賞作家、ウィリアム・フォークナーを研究しています。日本でいえば大正-昭和期にあたる時代に活躍した小説家で、アメリカ南部のさまざまな人発物や出来事を通して、人間が日々暮らしていく際の苦悩とそれに打ち勝った時の喜びを、描いています。

1955年には来日し、長野県の日本旅館や大学で文学セミナーを開いたこともあります。南北戦争で敗れた南部(ミシシッピ州)の出身であったため、敗戦国の日本にはすくなからぬ共感を感じていたようです。

難解で知られるフォークナーの作品は、アメリカ本国の英文科の学生でも読むのを躊躇するといいます。しかしアメリカと日本の大学院では、彼はいわゆる「マスト」(“must-read”: 読むでおかねばならない作家)であり、日米では現

短編「エミリーにバラを」で描かれる屋敷のモデル(森岡撮影)

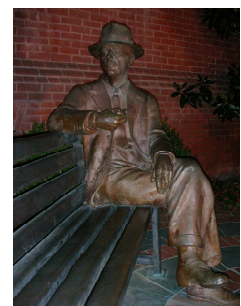


在でも有能な若手研究者がつつぎと現れています。

そのような中で私は、フォークナーが嫌悪感と独特の愛着をもって描く貧乏白人 (poor white trash)、とりわけ山間部や丘の中腹に住む人々に着目し、論じています。このテーマは、2000年代のフォークナー研究の本流ではけっしてありません。けれども、だからこそ自由な発想で論じることができると思っています。

その他では、アメリカの白人音楽、とくにブルーグラスについて専門的に学び、ときおりアメリカで研究成果を発表しています。また、英語教育の方面では、高専や工学部の学生向けの英単語例文集『COCET3300』を全国の英語科の高専教員たちと作成し、おかげさまで文部科学大臣賞を受賞しました。

フォークナーが生涯のほとんどを過ごしたミシシッピ州オックスフォードにある彼の像(森岡撮影)



**専門分野: アメリカ文学**

**技術協力・相談分野: 英語・英米文学・英語教育、アメリカ音楽・アメリカ文化一般。**

**連絡先 tel:0738-29-8323 e-mai:morioka@wakayama-nct.ac.jp**